

乳児期から耳顔症状を繰り返した小児アトピーの経過 (3 歳女児)

症例 ID：001-03-HY | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

出生時から全体、特に顔の皮膚が赤くカサカサしていました。乳児湿疹とされ、清潔にして経過をみていました。2 か月後、耳だけにジュクジュクした強いかゆみを伴う湿疹が出ました。

その後、2 歳 2 か月頃に目の周りをこすり、赤くガサガサになりました。肘、膝、首、手首の周りにぶつぶつが出て、夜間に掻いてシーツが血だらけになるほどでした。小児科でステロイド軟膏と内服薬が処方されましたが、ステロイドを繰り返す不安から、体質改善を考えて松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	乳児期の耳症状や 2 歳頃の皮膚症状に対してステロイド外用薬を使用していました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	乳児期から来院前まで断続的な使用歴があります。
中止時期	松本医院受診後、ステロイドを使用しない方針となりました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
出生時～2 か月	来院前	顔の赤み、カサカサ、耳のジュクジュクがみられました。
2 歳 2 か月頃	来院前	目周り、肘、膝、首、手首に症状が出て、夜間の掻破が強くなりました。
3 月	治療開始	松本医院を受診し、漢方薬と漢方風呂を開始しました。
治療開始直後	初期	漢方薬を嫌がることもありましたが、少しずつ飲めるようになりました。飲み始めた頃は、かゆい部位が広がりました。
4 か月後・7 月	回復傾向	顔と首がきれいになり、外を堂々と歩けるようになりました。
9 月頃	経過後半	肘もきれいになり、膝の症状が主に残りました。鼻風邪をひく回数も減ったと感じられました。
8 か月後	経過後	来院時と比べて皮膚状態は大きく変化しました。

4. ピーク時期

ピークは、2 歳 2 か月頃に目周り、肘、膝、首、手首に症状が出て、夜間に掻いてシーツが血だらけになるほどだった時期です。

5. 困りごと

- ・夜間の掻破が強く、家族の睡眠や不安に影響しました。
- ・ステロイドを繰り返すことへの不安がありました。
- ・漢方薬を飲ませることに苦労する時期がありました。

6. 経過のまとめ

治療開始後はかゆい部位が広がる時期がありましたが、4か月後の7月には顔と首がきれいになり、外を堂々と歩けるようになりました。

9月頃には肘もきれいになり、膝の症状が主に残る状態になりました。その後、症状が落ち着いた後は継続的な来院はなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。